
ラビリンス×ラビリンス

kageto

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ラビリンス×ラビリンス

【Nコード】

N8753X

【作者名】

k a g e t o

【あらすじ】

ダンジョンに潜る冒険者の日常的な話

0 - 0 昔語り

突如、世界に魔王が誕生した。原因も理由もない。理不尽な存在は世界に混沌をもたらした。

最初だけは。

人は強かった。冒険者という職にいる者たちは、常に自身を鍛え世界を歩きわたってきていた彼らは、魔王の生み出したモンスターをいとも簡単に駆逐して見せたのだ。

魔王はモンスターの強化を図った。ダンジョンを作ったのだ。最初のダンジョンには大量のモンスターを放り込み、同士討ちをさせることでより強いモンスターを生み出した。

強い個体が増えてくると、世界の各地に冒険者を誘い込むダンジョンを生み出した。誘い込むエサは様々なアイテムだ。武器防具装飾具。そして繁殖数の少ない薬草や、採掘数の少ない鉱石など。

冒険者達はこぞってダンジョンに潜っていった。しかしそこには今までにない強さを誇るモンスターの群れ。人はこのときになって初めてモンスターに苦しめられ、恐怖した。強い冒険者を捕食したモンスターたちはさらに強くなり、ダンジョンの外にその活動域を広げ、人々をさらに苦しめることとなった。

モンスターの恐怖に怯える日々が長く続いた。人々は心身ともに疲弊し、魔王の征服は着実に進んでいた。

そこに一人の青年が現れた。物語の主人公のごとく、古く語られ

る英雄譚の英雄のごとく。人々の希望となり、魔を駆逐していった。

これはそんな青年の冒険譚である。

と、言うのは千年以上昔の話。青年 勇者によつて魔王は倒され、世界に残ったダンジョンに潜って冒険者の大半は生活をしている。そんな時代。 ようはするに平和だったりする。

1 - 1 打撃特化冒険者

ゴリツ ゴスツ グチャツ ゴリュツ

薄暗い洞窟。肉と骨を殴打する音が響く。低く鈍い音が耐えることなく、合間合間に殴打されているゴブリンの悲鳴……ではなく呻きがかすれる様に聞こえる。

ゴスツ ゴリツ グチャツ

「……しづとい」

ゴブリンを殴打していた冒険者がボソリと呟いた。女の声。年若い。それこそ少女のような声。声のままの少女の冒険者。深い水色の長い髪を高い位置でポニーテールにし、子供と見間違っほどの低い身長を精一杯振り絞り、手にした武器をゴブリンに振り下ろしている。

しかしして、ゴブリンに止めを刺さんとするその表情は無表情。

感情でもないのではというほど、表情を変えることなく淡々と殴打し続ける。

「……いい加減くたばれ」

再びボソリと呟く内容は、見た目に反して物騒である。

だがゴブリンもついに力尽きたらしく、呻きもかすかな反応も返さなくなった。

「なによ。珍しく時間がかかったじゃない。アリス」

明かりが近づいてくる。灯りの魔道具に照らされながら一人の冒険者が近づいてきた。緋色の髪をショートカットにした勝気そうな女冒険者だ。腰に剣を下げているところから剣士だとわかる。

「・・・シーラ。ちよつと打点がずれただけ。次はちゃんとやる」

そういいながら魔道具の光に照らされたアリス。そのいでたちは剣士や格闘家、武僧ではなく魔術師のそれである。冒険者向けではあるが、黒を基調としたローブに杖。杖はゴブリンの血にまみれているが。まごうことない魔術師だ。

「次のは私の獲物」。交互って約束でしょ。ほらアリス、拾う物拾わないと」

女剣士 シーラに言われ、少女魔術師 アリスはゴブリンの死骸に左手につけた装飾のない腕輪をかざした。腕輪は淡く光り、ゴブリンの死骸を黒い霧に変えて吸収した。死骸のあったところには、数枚の金貨とゴブリンの使っていた短剣が残されていた。

「・・・終わった」

「はいはい。それじゃあさくさくいこ」

二人は洞窟のさらに奥 ダンジョン3階層【岩窟】から4階層【湿地】に繋がる階段へと歩き始めた。

打撃特化冒険者 ジョブ《魔術師》アリス

これは彼女の物語である

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8753x/>

ラビリンス×ラビリンス

2011年10月24日06時28分発行